大分県：大分県地域再生可能エネルギー導入推進事業計画

環境省

事業計画の特徴

- **CO2削減等の目標を掲げ、具体的な取組を実施する県内事業者を「おおいたグリーン事業者」として認証**し、当該事業者が行う太陽光発電設備・蓄電池の導入を本事業により支援。
- 通常の融資以外の資金調達の手段として、大分銀行と連携し、**国や自治体等から環境配慮型経営についての認証・認定を受けている企業が発行できる「大分銀行SDGsエコ私募債」の要件に「おおいたグリーン事業者」**を加え、県内の特に中小企業の脱炭素に向けた取組を支援している。
- 県内PPA事業者育成スキームとして、**セミナー等で地元企業のPPA事業への参入機運を醸成。**その後、安定的な電力需要がある県有施設で**PPA事業への新規参入を後押し**し、民間事業者で運営可能な体制づくりを目指す。

事業計画の概要（民間） 再エネ：8,504kW

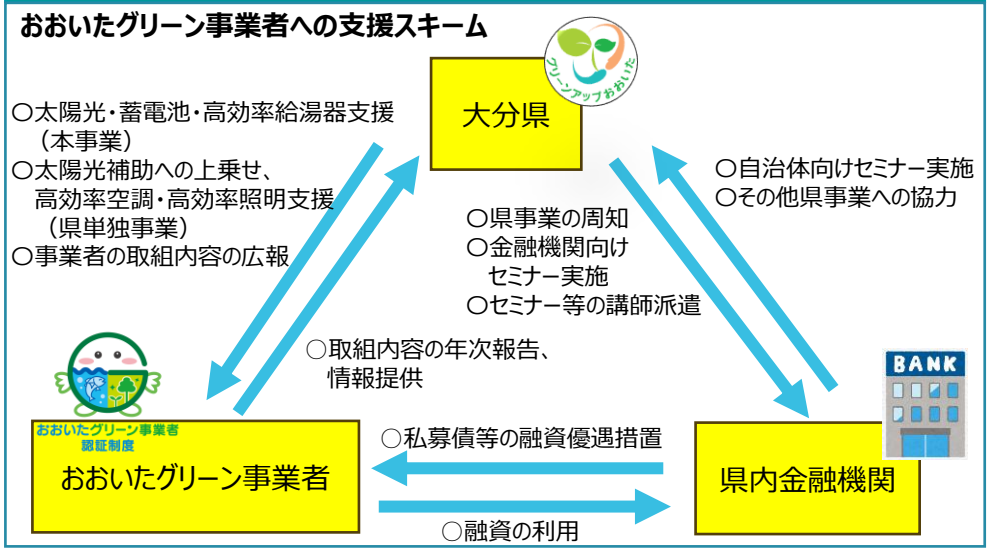
取組（個人）	規模
太陽光発電設備の導入	・1,144件 ・5,773kW
蓄電池の導入	・1,077件
高効率給湯設備の導入	・299件

取組（事業者）	規模
太陽光発電設備の導入	・186件 ・2,731kW
蓄電池の導入	・154件
高効率給湯設備の導入	・299件

事業計画の概要（公共） 再エネ：650kW

取組	規模
太陽光発電設備（PPA等）の導入	・20件 ・650kW
竹田総合庁舎等の既築『ZEB』等	・3件
高効率空調・高効率照明機器の導入	・138件
高効率照明機器（横断歩道人感ライト）のLED化	・47件

事業計画の効果・費用

再エネ導入	CO2削減	総事業費	交付金額	計画期間
9,154kW	110,503 t-CO2	51.4億円	19.8億円	令和4年度～令和9年度

取組のイメージ